



GLOBAL TIMES

能勢高校は、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間、文部科学省よりスーパーグローバルハイスクール (SGH) の指定を受けることになりました。「国際協力の現場で判断力と実践力を培うグローバル人材の育成」を研究開発テーマに、海外研修を含めたグローバル (グローバル×ローカル) な学習と活動に取り組んでいきます。これらの取り組みにつきましては、この「能勢高校 SGH ニュースレター GLOBAL TIMES」をはじめ、ホームページや様々な機会を通じて、広く発信してまいります。詳しくは、本校ホームページ (英語版も登場) をご覧ください。主な取組内容を紹介します。

Super Global 講座

- 基礎知識講座
- 重点分野講座
- 英語特別講座
- 課題研究 (海外研修)

① SG 基礎知識講座

1 年生は「産業社会と人間」、2 年生は「総合的な学習の時間」において学年全員が受講し、外部よりさまざまな分野の講師を招き講演やワークショップを行います。グローバルな課題について基礎的な知識を広く身に付け、課題発見・解決能力を向上させます。

② SG 重点分野講座

平成 27 年度は、2 年生希望者 12 名が、「マレーシア経済発展と自然破壊」を重点テーマに、「マングローブ炭と森林破壊」に焦点をあて、大学の教員の指導のもと課題研究を進めていきます。関連分野からの多彩な講師を招き、講演やワークショップなどで様々な角度から課題を探求します。

③ 英語特別講座 (プレゼンテーション講座)

ネイティブの講師により英語でのコミュニケーション力を身に付けます。特に使える英語をめざして日常英会話から課題研究発表に向けて英語プレゼンテーションまで幅広く学びます。2 年生 SG 重点分野講座 12 名と 1 年生 SG 重点分野講座 18 名とが学年ごとで受講しています。

④ 海外実態調査・クアラルンプール大学ワークショップ

実際に 11 月にマレーシア (ペラ州タイピン) に行き、木炭工場視察、マングローブ植林体験や学校交流を行い、クアラルンプール大学で英語によるプレゼンテーション (成果発表) を行います。

⑤ 成果発表・発信

課題研究の成果を英語で発表します。ホームページでも発信します。

- ・海外発表：11 月 5 (木)、6 日 (金) マレーシア クアラルンプール大学にて
- ・中間発表：11 月 21 日 (金) 本校体育館にて (能勢地域小中高一貫研究発表会)
- ・最終発表：3 月 浄るりシアターにて

講座と講師の紹介 (Lecturers)

1 年 SG 基礎知識講座



第 1 回 ● 中島 早苗 さん (NGOフリーザチルドレンジャパン代表理事・事務局長)

6 月 1 日 (月) 「世界の貧困下にいる子どもたちと私たちにできること」をテーマに、世界の食料分配、世界の富の配分状況、児童労働の現状などについて講演・ワークショップを行っていただきました。

第 2 回 ● 赤嶺 結衣 さん (JICA 関西 JOCA 開発教育支援担当)

6 月 8 日 (月) 「JICA の役割～青年海外協力隊の活動を通して～」をテーマに、ワークショップ「もし無人島に行ったとしたら何を持っていく?」、「アフリカ ベナン共和国での活動」について講演を行っていただきました。





第3回 ●清水 利春 さん（オイスカ関西研修センター所長）

7月9日(木)「OISCの役割と仕事」をテーマに、地球環境を考えながら「教育と開発」を促進する国際NGOオイスカの国内外での幅広い活動の紹介と国際NGOの役割について講演を行っていただきました。

第4回 ●今岡 良子 さん（大阪大学言語文化研究科准教授）

7月16日(木)「モンゴルの今を生きる」をテーマに、モンゴルの歴史、伝統、自然、文化などについての紹介、モンゴルで貧困に苦しむ子どもたちやシングルマザーの保護施設「ジェンダーセンター」について講演を行っていただきました。



2年 SG 基礎知識講座

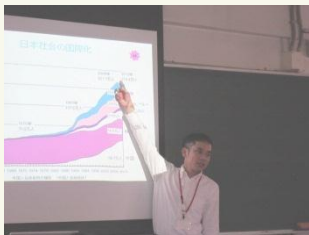


第1回 ●舎川（とねがわ） 春佳 さん（大阪大学外国語学部英語専攻の卒業生）

4月23日(木)「海外体験の意義」をテーマに、自らの進む道を探すために大学中に留学をされたことやその後の海外体験など、人とのつながりがたくさんできたことなどについて講演を行っていただきました。

第2回 ●乾 陽子 さん（大阪教育大学 化学生態学研究室准教授）

6月24日(水)「マレーシア熱帯雨林の生態系について ― 日本とマレーシアの係わり」をテーマに、マレーシア・サラワク州のランビルヒルズ国立公園で行っているフィールドワーク研究の紹介、熱帯雨林から伐採される南洋材の多くが日本に輸入され消費されていること、伐採後には、椰子プランテーションが造成され熱帯雨林が消えていくことなどについて講演を行っていただきました。



第3回 ●河合 大輔 さん（箕面市国際交流協会）

7月8日(水)「外国文化を知る・国際理解のために」をテーマに、箕面市国際交流協会の活動や日本で暮らす外国人についての講演・ワークショップを行っていただきました。異文化理解や多文化共生について学習しました。

第4回 ●今井 紀明 さん（NPO法人DXP共同代表）

7月15日(水)「国際貢献について～国際貢献と日本社会の関わり～」をテーマに、イラクで人質となった経験、それを乗り越えNPO法人を立ち上げた経緯についての講演・ワークショップを行っていただきました。



2年 SG 重点分野識講座

1回 6月2日(火) SG重点分野講座オリエンテーション

第2回 ●斉藤 俊幸 さん（地域再生マネージャー）

6月13日(土)「グローバル化と地域再生」をテーマに、国内外で地域再生事業に携わってきた経験をもとに、グローバルに生きるということについて、またSGHの学びをいかに地域に生かすかについて講演を行っていただきました。



第3～6回、10～11回 ●乾 陽子 さん（大阪教育大学 化学生態学研究室准教授）



6月20日(土)、7月11日(土)今年度のテーマ「マレーシア 経済発展と自然破壊」について、課題研究講座を開始しました。乾先生の指導のもと、2年SG重点分野講座受講者12名が1年間課題研究を進めていきます。今回は、マレーシアの熱帯雨林や経済に関する講義・ワークショップを通して、マレーシアの熱帯雨林の現状、研究発表を行う際のプレゼンテーション作成方法やデータ取得方法などを学びました。

第7回 ●吉野 奈保子 さん（共存の森ネットワーク事務局長）

7月14日(火)「地球と持続の新しい価値観を求めて～エネルギーの地域内循環～」をテーマに、講演・ワークショップを行っていただきました。現代とグローバル化以前の世の中を比較。バイオマス発電によるエネルギーの地域内循環の事例を紹介していただき、経済観念だけでなくお金の換算することの難しい価値観の大切さについて学びました。



第8回 ●清水 利春 さん（オイスカ関西研修センター所長）

7月18日(土)「国際NGOオイスカの活動～オイスカの活動について一緒に考えよう～」をテーマに、オイスカの成り立ちと、清水さん自身のマニラでの活動についての講演、「フィリピンの貧民街での農業普及計画」というワークショップを行っていただきました。



第9回 ●小谷 義隆 さん（能勢さとやま創造館代表）

7月28日(火)「能勢菊炭と世界の木炭生産」をテーマに、能勢の伝統的な菊炭についての紹介、大量に輸入されているマレーシア産の炭との違いについてのワークショップを行っていただきました。



英語プレゼンテーション講座

●ティモシー カーン さん（カナダ出身 関西学院大学・大阪産業大学講師）

幼少期より日本とカナダを往来して育ったため日本語と英語のバイリンガル。カナダで大学を卒業後に来日、大阪大学で博士号を取得。その後、長年、各種学校で語学講師、講義講師として勤務。大学では英語の講義はもちろん日本語で文化人類学などを教えている。流暢な日本語も交えて生徒のプレゼンテーション能力を高める授業を展開しています。



●ロバート ノーマイル さん（イギリス出身）

リヴァプール大学を卒業後、オーストラリアで勤務経験を積んだのち、来日。英会話スクールで英会話講師、中学校、高等学校でのALTや専任講師、専門学校での英語講師を務める。日本語も堪能で生徒のわからないポイントをすくい上げ、楽しい授業を展開しています。



●東條 暁之 さん（You ∞ Me English 代表）

東京生まれ、ニューヨーク育ち。生後まもなくニューヨークに移住し、15歳で日本に戻る。大学卒業後、海外で営業の仕事に携わっていたが、その後独立し英語教育に携わる。「英語はゴール（目標）ではなくツール（道具）である」がモットー。本校の講座ではインターネットを使い、生の英語を検索しながらの授業を展開しています。



マレーシア高校生の訪問と交流

平成27年6月5日(金)から7日(日)の3日間、マレーシアの高校生20名と教員4名が本校を訪れました。高校生たちは、マレーシアのマラ公団によって派遣され、オイスカ関西研修センターが受入窓口になり実施されました。



1日目、午前は校内案内・授業見学、昼休みは2～4名に分かれ本校生と教室で昼食をとり、午後は本校農場を見学しました。放課後は、本校生とともに「浄るりシアター」を訪問し、人形浄瑠璃を見学、体験しました。2日目は、本校生10名と大阪国際大学の学生10名が、京都一日観光に同行しました。本校生が、大学生とともに英語による清水寺観光案内を行いました。夜は能勢町に戻り、マレーシアの高校生は、本校生や教員、地域の方々の家でホームステイを体験しました。3日目は、



それぞれがホストファミリーと過ごしたり大阪観光をしたりして最後の1日を楽しみ、翌朝、関西空港からマレーシアに帰国しました。

西中学校「能勢高校の先輩に学ぶ会」でSGHについて英語で発表



7月8日(水)、西中学で行われた「能勢高校の先輩に学ぶ会」に、西中学出身の本校3年生3名と同じく西中学出身のSG重点分野講座選択者4名が、参加・発表しました。

2年生4名は、パワーポイントを使って、SGHについて初めての英語でのプレゼンテーションを行いました。また、スーパーグローバル重点分野講座を選択した思いや、これからのグローバル社会で活躍したいという思いを語りました。

能勢高校を応援する会「町ぐるみ応援団」第6回総会でSGHについて英語で発表

7月19日(日)、「能勢高校を応援する会「町ぐるみ応援団」」第6回総会が浄るりシアターで開催され、2年生12名のSG重点分野講座選択者たちが「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」についてパワーポイントを使いながらリレー形式での説明を英語で行いました。この発表は、SGH「英語プレゼンテーション講座」で身に付けた「英語コミュニケーション力」を発揮したもので、今後の研究成果発表につながるものとなりました。



中高一貫体験入学会(中学2年)SGH特別講座



7月7日(火)中高一貫体験入学会でSGH英語特別講座を開講しました。本校SG英語プレゼンテーション講座講師のロバート先生が担当し、ゲームやクイズを使って生徒を笑いの中に引き込みながらの楽しい講座になりました。本校生徒と中学生がグループを作り中学生は本校生徒の助けを借りながら、ロバート先生の出す質問に答えていきました。最初は緊張していた中学生も徐々に英語が口から出始め、英語をしゃべることに慣れてきたようでした。生きた自然の英語を体験する良い機会となりました。

マレーシア海外実態調査の下見・打ち合わせ

8月2日(日)～6日(木)の5日間、11月に実施を予定しているマレーシア海外実態調査の下見・打ち合わせとして、担当教員がマレーシアの首都クアラルンプールとペラ州タイピンを訪れました。タイピンでは、マングローブ保護林で植林の様子を視察し、マングローブ材を使った炭焼き工場を見学しました。またタイピンにある高校MRSM Taipingを訪問し、11月の交流の打ち合わせをしました。クアラルンプールでは、クアラルンプール大学を訪問し、大学での研修内容や本校生徒の研究発表の方法などについて打ち合わせをしました。



保護林のマングローブ



伐採したマングローブ材



木炭工場 Kuala Sepetang Charcoal



交流高校 MRSM Taiping



クアラルンプール大学訪問

*土曜日講習会のお知らせ(対象は中学3年生。参加問い合わせは TEL072-737-0666まで)

実施日:9月5日・12日、11月7日・14日・28日、12月19日・26日、1月9日・16日・30日

SGH特別授業:1~2限(ティモシーカーン先生の英語講座)キャリア教育授業:3~4限(藤岡慎二先生のよのなか科)